

仕 様 書

1 業務名

交通切符等の作成

2 品名

(1) 交通切符等

- ア A切符（赤）市内用（番号あり）
- イ 交通反則切符（青）一般用（番号あり）
- ウ 交通反則切符（青）駐車用（番号あり）
- エ 通告用切符（一般用）（番号なし）
- オ 通告用切符（駐車用）（番号なし）

(2) 納付書①

- ア 納付書 一般用 仮納付（番号あり）
- イ 納付書 駐車用 仮納付（番号あり）
- ウ 納付書 一般用・駐車用（番号なし）
- エ 納付書 交付通告用（番号なし）

(3) 納付書②

- ア 納付書 送付通告用（番号なし）
- イ 納付書 交付嘱託用（番号なし）

3 数量及び納入期限

別紙1「内訳表」のとおり

4 納入場所

京都府警察本部交通部交通指導課（以下「担当部署」という。）京都交通反則通告センター

5 共通仕様

(1) 用紙のサイズ及び規格

別紙1「内訳表」のとおり

(2) 製版

- ア C L S（コンピュータレイアウトシステム）
- イ 文字の歪みや欠けがなく、OCRピッチの狂いがないこと。

(3) 印刷

- ア 方式
ウェットオフセットUV印刷
- イ P C S 値
OCRカラー 0.1以下
タイミングマーク 0.75以上
- ウ 印刷精度
P C S 値の基準を満たし、位置ずれ、汚れ等がないこと。

エ 耐候性

紫外線硬化型インキを使用して、摩擦によるインキの剥がれがないこと。

オ 加工精度

寸法誤差 1 mm 以内にする事。

カ その他

(ア) OCR 読取部分の作成及び OCR 読取機器の動作確認は、受注者の責任において行い、これにかかる費用は受注者が負担すること。

(イ) 印刷前に担当部署に校正を依頼すること。

(ウ) 校了したものについて各種 20 組の試作品を担当部署に提出し、複写状況、糊付け状況、OCR の読取状況等の確認を受け、修正がある場合はその指示に従うこと。

(エ) 納入後に不具合が判明した場合（納入した OCR 用紙の原因により読取機器が正常に動作しない場合を含む）は受注者の責任において不具合を修正し、修正後の試作品 20 組を担当部署に提出のうえ、点検を受けること。点検合格後、不具合の判明したもの全てを受注者の費用負担で交換すること。

(オ) 製造工程毎に、各種測定器具によるチェック及び作業員による抜き取り検査の実施により製品の安定化を図ること。また、抜き取り検査結果については、担当部署から確認を求められた際に、速やかに提出できるようにすること。

6 個別仕様

(1) 交通切符等

ア 全種類の交通切符等のレイアウトを統一化すること。

イ OCR 字体については OCR-B フォントとすること。

ウ OCR 部は発色インキによる印刷を行い、鮮明に複写されること。

エ 担当部署が指定する交通切符等の切符番号については 9 桁とし、8 桁目までは指定の通し番号（別紙 2 「交通切符等の番号チェック表」参照。）を付し、下 1 桁の数字をモジュラス 11 方式によるチェックデジットとする（別紙 3 「切符番号構成基準」参照。）。

オ 交通切符等の上部に容易に剥がれない糊付けをすること。

カ A 切符（赤）市内用（番号あり）の 2 枚目については、朱肉が裏面ににじみ出にくい紙質であること。

(2) 納付書①

ア 裏カーボンについては、転写による汚れがなく、PCS 値の基準を確実に満たして複写されること。

イ 納付書 一般用 仮納付（番号あり）及び納付書 駐車用 仮納付（番号あり）に使用する納付書番号は、交通反則切符（青）一般用（番号あり）及び交通反則切符（青）駐車用（番号あり）に使用する切符番号とそれぞれ一対の番号とする。

ウ 上部に容易に剥がれない糊付けをすること。

(3) 納付書②

ア 裏カーボンについては、転写による汚れがなく、PCS 値の基準を確実に満たして複写されること。

イ 左側端を糊付けし、切り取りのためのミシン目を施すこと。

ウ ドットインパクト式印字装置による印字の動作確認は担当部署の指示を受け確実に行い、これに係る費用は受注者が負担すること。

7 編冊方法等

(1) 交通切符等

ア 編冊方法

(ア) A切符（赤）市内用（番号あり）

5枚を1組とし、50組をもって1冊として、それぞれ帯封をする。

(イ) 交通反則切符（青）一般用（番号あり）及び交通反則切符（青）駐車用（番号あり）

6枚を1組とし、100組をもって1冊として、それぞれ帯封をする。

(ウ) 通告用切符（一般用）（番号なし）及び通告用切符（駐車用）（番号なし）

2枚を1組とする。

イ 梱包方法

(ア) 交通切符等のそれぞれの帯封に各様式毎の一連番号を付すこと。

(イ) ダンボール箱には、記号・番号を付することとし、番号あり・番号なしを別梱包とする。

(2) 納付書①②

ア 編冊方法

(ア) 納付書 一般用 仮納付（番号あり）及び納付書 駐車用 仮納付（番号あり）

4枚を1組とし、100組をもって1冊として、それぞれ帯封をする。

(イ) 納付書 一般用・駐車用（番号なし）

4枚を1組とし、50組をもって1冊として、それぞれ帯封をする。

(ウ) 納付書 交付通告用（番号なし）

3枚を1組とする。

(エ) 納付書 送付通告用（番号なし）及び納付書 交付嘱託用（番号なし）

6枚を1組とし、2組毎に折り返し、1,000組を連続させたものを1箱に梱包する。

イ 梱包方法

(ア) 納付書のそれぞれの帯封に各様式毎の一連番号を付すこと。

(イ) 帯封された納付書（番号あり）はそれぞれ種類毎にダンボール1箱に10冊を梱包すること。

(ウ) 帯封された納付書（番号なし）はダンボール1箱に20冊を梱包すること。

8 その他

(1) 全作業工程の進捗状況を常に管理して、納期遅延を防止すること。

(2) 様式変更が決定した際は、担当部署から納入期限1ヶ月前までに受注者へ連絡することとし、受注者は確実に様式変更に対応し、納入期限までに納入すること。

(3) 具体的な納入日については、その都度担当部署と協議し決定すること。

(4) 参考見本が必要な場合は担当部署に申し出ること。

内 訳 表

番号	品名	サイズ 縦×横	複写 枚数	用紙の規格						組数	納入期限			
				1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目		8月8日 (金)	8月29日 (金)	10月31日 (金)	1月30日 (金)
1	A切符 市内用 (赤) (番号あり)	120×250 ^{mm}	5P	ノーカーボン紙 桃色#40	ノーカーボン紙 黄色#40	ノーカーボン紙 白色#30	ノーカーボン紙 白色#30	OCR用紙 90k		10,000組	2,000組	3,000組	3,000組	2,000組
2	交通反則切符 (青) 一般用 (番号あり)	120×250 ^{mm}	6P	ノーカーボン紙 青色#40	ノーカーボン紙 白色#40	ノーカーボン紙 桃色#40	ノーカーボン紙 白色#30	ノーカーボン紙 白色#30	OCR用紙 90k	85,000組		30,000組	30,000組	25,000組
3	交通反則切符 (青) 駐車用 (番号あり)	120×250 ^{mm}	6P	ノーカーボン紙 青色#40	ノーカーボン紙 白色#40	ノーカーボン紙 桃色#40	ノーカーボン紙 白色#30	ノーカーボン紙 白色#30	OCR用紙 90k	6,000組		3,000組		3,000組
4	通告用切符 (一般用) (番号なし)	120×250 ^{mm}	2P	ノーカーボン紙 白色#40	ノーカーボン紙 桃色#40					3,000組	1,000組	1,000組	1,000組	
5	通告用切符 (駐車用) (番号なし)	120×250 ^{mm}	2P	ノーカーボン紙 白色#40	ノーカーボン紙 桃色#40					1,000組	500組		500組	
6	納付書 仮納付 一般用 (番号あり)	90×220 ^{mm}	4P	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k			85,000組		30,000組	30,000組	25,000組
7	納付書 仮納付 駐車用 (番号あり)	90×220 ^{mm}	4P	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k			6,000組		3,000組		3,000組
8	納付書 一般用・駐車用 (番号なし)	90×220 ^{mm}	4P	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k			8,000組	2,000組	2,000組	2,000組	2,000組
9	納付書 交付通信用 (番号なし)	90×220 ^{mm}	3P	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k				1,000組	1,000組			
10	納付書 送付通信用 (番号なし)	90×220 ^{mm}	6P	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k	上質紙	8,000組	2,000組	2,000組	2,000組	2,000組
11	納付書 交付嘱託用 (番号なし)	90×220 ^{mm}	6P	ノーカーボン紙 白色#40	ノーカーボン紙 白色#40	複写用紙 #33	複写用紙 #33	複写用紙 #33	OCR用紙 70k	500組	500組			
	合 計									213,500組	9,000組	74,000組	68,500組	62,000組

交通切符等の番号チェック表

切符の種類		通し番号	
A切符		令和7年度	
10,000組		5A100001～5A110000	
		使用可能番号100001～350000(市内) 記号はA(例規による)	
交通反則切符(青)一般用番号あり		令和7年度	
85,000組		5E400001～5E485000	
		使用可能番号400001～699999 記号はB・C・D・E・F(例規による) B記号(令和4年度・平成29年度・平成24年度) C記号(令和5年度・平成30年度・平成25年度) D記号(令和6年度・平成31年度・平成26年度) E記号(令和7年度・令和2年度・平成27年度) F記号(令和3年度・平成28年度)	
交通反則切符(青)駐車用番号あり		令和7年度	
6,000組		5P700001～5P706000	
		使用可能番号700001～899999 記号はP・Q・R・S(例規による) P記号(令和7年度・令和3年度・平成29年度) Q記号(令和4年度・平成30年度・平成25年度) R記号(令和5年度・平成31年度・平成27年度) S記号(令和6年度・令和2年度・平成28年度)	

切符番号構成基準

交通切符番号のチェックデジットはモジュラス11で計算します。 部分の数字を変えてチェックデジットを確認できます。

ロール番号
5

交通切符番号

切符番号を1桁ずつに分離

4	0	0	0	0	1
---	---	---	---	---	---

x	x	x	x	x	x
---	---	---	---	---	---

7 6 5 4 3 2 下1桁から順に2,3,4,5,6,7の係数を掛ける。

↓	↓	↓	↓	↓	↓
---	---	---	---	---	---

28	0	0	0	0	2
----	---	---	---	---	---

= それぞれの数字を合計する。

合計を11で割った余り。MOD(30,11)

余りを11から引く。

引いた結果の数字が10の場合は0、11の場合は、1。

ロール番号は西暦の下一桁
切符区分はアルファベット1文字